

# 県西教育事務所だより

「学校に元気を 先生方に自信と勇気とやる気を 子どもたちに夢と生きる力を」 令和2年10月9日発行(第5号)

## 中学校「数学」評価の進め方について

令和3年度から中学校の学習指導要領が全面実施となります。前号の『小学校「外国語」の評価の進め方』に続き、「中学校数学の評価の進め方」について解説します。なお、小学校算数の評価の進め方についても同様ですので、小学校の先生方も参考になさってください。

【例】中学校第2学年 単元名「一次関数」

### 観点別学習状況の評価について

#### 評価の計画を立てることが大切!

- ・いつ、どのような方法で記録を取るのか。
- ・目標に到達した具体的な生徒の姿を捉えているか。

※「記録」の欄の「○」は「全員の学習状況を記録に残す」という意味。つまり、単元の中には「○」がつかない時間もある。

#### 思考・判断・表現

- ・数学を活用して事象を論理的に考察する力
- ・数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力
- ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力

ペーパーテスト以外に、論述やレポート、発表、グループでの話し合い等の多様な活動を取り入れ、評価方法を工夫する。

#### 単元の評価規準

知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①一次関数について理解している。 ②事象の中には一次関数として捉えられるものがあることを知っている。 ③二元一次方程式を関数を表す式とみることができる。 ④変化の割合やグラフの傾きの意味を理解している。 ⑤一次関数の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。	①一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ②一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	①一次関数について考えようとしている。 ②一次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③一次関数を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。

#### 指導と評価の計画(全17時間)

時間	ねらい・学習活動	重点	記録	評価規準・評価方法
7	与えられた条件から直線の式を求めることを通して、1点の座標と傾きから直線の式を求めることができるようにするとともに、2点の座標から直線の式を求めることができるようにする。	知	○ 知⑤:小テスト	・グラフの傾きと通る1点の座標やグラフが通る2点の座標から、1次関数の式を求めることができる。
8	周一定の二等辺三角形における底辺と等辺の関係を、変域を意識しながら考察し表現することを通して、 ・二元一次方程式を一次関数としてみるることができるようにする。 ・具体的な事象における数量の関係の表し方を見直し、よりよいものに改善しようとする態度を養う。	思 態	○ 思①②:行動観察 ○ 態③:行動観察、ノート	・一次関数として捉えられる二つの数量について、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ・一次関数を活用した問題解決の過程を振り返って、よりよいものに改善しようとしている。
13	複数の料金設定から、Tシャツのプリント料金が安い設定を見いだし、その理由を説明することを通して、現実的な事象から二つの数量を取り出し、一次関数のグラフを基にして考察し表現することができるようにする。	思	○ 思②:ノート	・具体的な事象の中の二つの数量の関係を1次関数とみなして、そのグラフを利用して問題を解決することができる。

#### 知識・技能

- ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解しているか。
- ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けているか。

「○問中、□問正答できればおおむね満足」というように量的に評価するのではなく、質的に評価する。

#### 主体的に学習に取り組む態度

- ・数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度
- ・問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度
- ・多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度

挙手の回数や毎時間ノートを取っているかなどを評価することは適当ではない。

### 観点別学習状況の総括について

記録に残した評価(「指導と評価の計画」の「○」の時間で評価した内容)を中心に実施。

時 番	名前	5		7		8		11		13		16		17		備考(生徒の様子に関する特記等)	単元の総括			
		知	知	知	知	思	思	思	思	知	知	知	知	知	知		知	知	知	
1	国研 花子																			
2	文科 太郎																			
3																				
4																				

例えばこのような表を作り、各観点の評価の結果を整理することが考えられます。

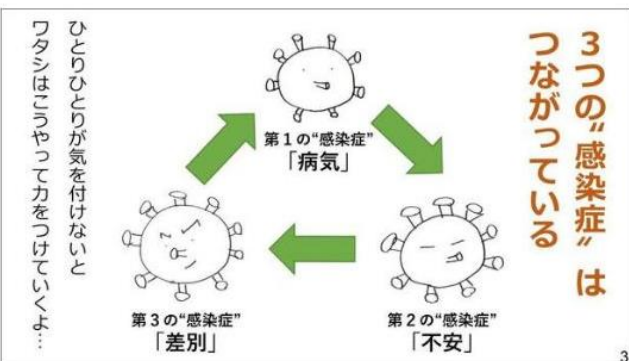


#### 【参考資料】

- ・『学習評価の在り方ハンドブック』小・中学校編  
(文部科学省 国立教育政策研究所教育課程研究センター 令和元年6月)
- ・『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(中学校数学)』  
(同上 令和2年6月)

## 「コロナいじめ」を未然に防ぎましょう

見えないウイルスへの不安から生じる偏見や差別により、悲しみ、苦しんでいる人たちがいます。この感染症の怖さは、「病気」が「不安」を呼び、「不安」が「差別」を生み、「差別」が更なる「病気」の拡散につながることで、第3の「感染症」は嫌悪・偏見・差別です。不安をあおることは偏見や差別を強めます。「確かな情報」により、差別的な言動に子どもたちが同調しないような指導が必要です。次の資料を参考にするなどして、発達段階に応じた学級指導をお願いします。



日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！  
～負のスパイラルを断ち切るために～」より

### 文部科学大臣メッセージ（抜粋）

感染した人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、感染した人たちが早く治るよう励まし、治って戻ってきたときには温かく迎えてほしいと思います。もし、自分が感染したり症状があったりしたら、友達にはどうしてほしいかということを考えて行動してほしいと思います。すでに、感染した人達が心ない言葉をかけられたり、扱いをされたりしているという事例が起きています。こうしたことが皆さんの周りでも起きないように、皆さんにも協力してほしいのです…。

令和2年8月 文部科学大臣 萩生田光一

## 「新しい学校生活スタイルブック」を発行します

多くの学校から、「このコロナ禍において、どのように授業づくりをしていけばよいのか」という声が届いています。そこで、県西教育事務所では、市町教育委員会等と連携し、「新しい学校生活スタイルブック」を10月16日（金）に発行します。学校における児童生徒の安心、安全な生活様式と児童生徒の学力の保障に向けた様々な例を、「学習編」と「生活編」の2つに分け集約しました。

例えば、以下のような例を掲載しています。多くの資料において、写真や図、イラストを添え、具体的に説明されていますので、ぜひ参考にしてください。

### 【学習編】

- ・ペア学習やグループ学習をする際、児童生徒の距離を確保する上での工夫例
- ・意見を交流する際、ICT機器や付箋、ホワイトボードを活用する例
- ・授業を行う上での配慮事項を、各教科毎にまとめている実践例

### 【生活編】

- ・給食の時間における工夫例
- ・トイレや手洗い場において、順番待ちをする際の工夫例
- ・保健室の環境の工夫例
- ・学校生活を送る上での「行動基準」をマニュアル化した例

### 【人事課より】

服務規律の確保に向け ～風通しのよい職場づくり、当事者意識の涵養と違和感の共有～を…

各学校におかれましては、服務規律の確保に向け様々な研修をされていますが、残念なことに9月以降、県内で立て続けに3件、5名の懲戒処分がありました。

県西教育事務所では、「風通しのよい職場環境づくり」、「当事者意識の涵養と違和感の共有」をキーワードに服務規律の確保に向けた取組を各学校にお願いしています。

#### 1 「風通しのよい職場環境づくり」のために

風通しのよい職場をつくるためには、職員間のコミュニケーションの促進や「談話」等の奨励によるチーム力の向上、「気付き」「思いやり」「お互いさま」（互いに支え合える環境）をつくりましょう。また、管理職自ら「自分の目、自分の耳、自分の足」で職員や児童生徒の様子を把握することが大切です。その上で、職員の困り感や悩み、児童生徒の様子を把握し、職員の困り感や児童生徒の課題解決に向けた対応策を考えることが必要です。また、このようなことが「違和感を共有」するきっかけとなります。

#### 2 当事者意識の涵養

当事者意識を涵養させるためには、繰り返し研修を行うことが必要です。研修を繰り返すことで、「不祥事は他人事」ではなく「誰もが不祥事の当事者になり得る」という強い認識をもつことが大切です。

<参考> eラーニング研修の活用（令和2年8月7日付け義教第976号）